

新型コロナウイルス対策と豪雨災害からの復旧・復興に取り組み、

明るく元気な岡山県を取り戻します。

5つの政策を実行し、「生き活き岡山」の実現を目指します。

- 政策1 教育県岡山を復活させます。**
子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり、不登校等を生まない学校づくりと非行防止対策の確立とICTを活用した教育・ITスキル向上の推進、グローバルに活躍できる人材の育成
- 政策2 産業を振興して、岡山県を元気にします。**
地元企業の「稼ぐ力」の強化による地域産業の振興、生産・雇用の誘発効果が期待できる企業の誘致、安定的な雇用の拡大、確保と県民所得の向上、企業を支え、発展を担う人材の育成、確保と定着支援、意欲や能力に応じて活躍できる働き方の推進、滞在型観光の推進とインバウンド戦略の展開、備わった観光水産業の加速化
- 政策3 未来への投資として、次世代の県民を応援します。**
若い世代の結婚から子育てまで切れ目ない支援、子育て世代が安心して働ける環境の整備、乳幼児期における教育・保育の充実
- 政策4 子どもから高齢者まで県民誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます。**
地域における医療提供体制の整備と福祉介護サービスの質の向上、互いに助け合う地域の防災力の充実強化、犯罪抑止対策、交通事故防止対策の推進、多様な主体の活躍による持続可能な中山間地域等の形成促進
- 政策5 誇りを持って暮らせる岡山県を創ります。**
暮らしやすさを生かした移住・定住の促進、地域の特性や魅力を生かしたまちづくりの支援、文化とスポーツの力を活用した地域の活性化、首都圏や海外に向けた岡山の魅力発信

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興

被災直後、人命救助を最優先で行いながら、応急対策に取り組んだ後、復旧・復興ロードマップを策定し、被災者の生活再建支援や地域産業の復興支援、公共施設の復旧などに力を注いでまいりました。仮設住宅の入居者はピーク時の約2割となり、被災した事業者の約9割が営業を再開し、県管理の河川、道路などの原形復旧工事も約8割の箇所ですべて完了しています。被災された方々が一日も早く住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、今後とも取り組んでまいります。また、豪雨災害から得た教訓を生かし、県内全域で防災・減災対策を進め、より災害に強い岡山の実現を目指します。

被災された方々の見守り・相談対応への支援、被災した河川や道路などの原形復旧、再度災害防止・軽減に向けた堤防高上げなどの河川改良維持、県内全域での河道掘削、樹木伐採による河川の流下能力の維持・向上、各市町村の地区防災計画、避難支援個別計画などの作成支援

新型コロナウイルス感染症への対応

国内での感染が確認された直後から、県民への呼び掛けやまん延防止対策を行うことにより、感染を拡大させることなく第一波を乗り切りました。また、社会経済活動を維持するため、県民の声を聞きながらスピード感を持って500億円を超える補正予算を数次にわたって編成し、大きな影響を受けた事業者等に対する各種の支援策を打ち出しました。皆様のご協力もいただき、感染者数や重症例を低く抑えることができています。県民の命と暮らしを守るため、引き続き、医療提供体制の拡充と事業者等を支援するための対策に取り組めます。

■新型コロナウイルス外来の設置 ■PCR等の検査体制の強化
■入院病床・宿泊療養施設の確保など医療提供体制の拡充
■雇用を守り、事業を継続するための事業者支援 ■落ち込んだ観光需要等の回復



プロフィール

●生年月日：昭和41年(1966年)7月29日
●家族：妻と娘二人
●略歴：昭和54年(1979年)3月 岡山大学教育学部附属小学校卒業
昭和57年(1982年)3月 岡山大学教育学部附属中学校卒業
昭和60年(1985年)3月 岡山県立岡山大安寺高校卒業
昭和60年(1985年)4月 東京大学理系一類入学
(1年間休学し、アメリカで語学研修)
平成2年(1990年)3月 岡山大学教育学部附属小学校卒業
平成2年(1990年)4月 外資系経営コンサルティング会社入社
平成5年(1993年)6月 同社退職
平成7年(1995年)6月 スタンフォード・ビジネススクール修了
MBA取得
その後、約1年間、フランスで料理を学ぶ
平成8年(1996年)5月 株式会社天満屋取締役就任
平成10年(1998年)5月 株式会社天満屋代表取締役社長就任
平成24年(2012年)5月 株式会社天満屋代表取締役社長退任
平成24年(2012年)11月 岡山県知事就任(11月12日)
平成28年(2016年)11月 岡山県知事再任(11月12日)

いばりゅずき隆太

誰ひとり、とり残さない県政を

コロナ危機から命と暮らし、営業を守る

- 「いつでも・誰でも・何度でも」PCR検査の抜本的拡充を
- 保健所の機能と体制の拡充
- 医療機関への財政支援含む直接支援
- 小規模事業者等への直接的支援
- 少人数学級(20人程度)の実施
- 消費税減税を国に働きかける

今の県政、ここが問題

- 子ども医療費無料化年齢の拡大に「優先度が違う」と背を向ける
1400万円あれば、障害のある子どもの医療費を18歳まで無料にできるのにやらない「冷たい県政」
- 学力偏重 競争と管理を強める教育
小学校3年次から毎年県独自の学力テストを実施し、コロナ禍の今年も実施するなど、順位競争に拍車をかける
- 本当に困っている中小事業者への支援は後回し
新型コロナウイルスの影響を受けた事業者への県独自の支援金も従業員21人以上の事業者に限られる

すぐにやります！ 4つの暮らし応援プラン

- 子育て**
◇県の制度として、医療費は中学校卒業まで無料に
◇認可保育所の新設・増設補助で待機児ゼロ。保育士の給与への補助など処遇の改善
◇[子どもの貧困]対策の拡充(子ども食堂、学習支援の活動へ財政支援など)
- 若者**
◇返さなくていい県独自の奨学金をつくる。奨学金返済の支援制度をつくる
◇正規雇用の拡大、最低賃金・時給1500円以上に。賃上げのための中小企業支援
- 地域経済**
◇住宅・商店リフォーム助成制度をつくる
◇住民主体の自然エネルギー導入への支援。地球温暖化防止にリーダーシップを発揮する
◇小規模事業者等の後継者確保、事業継続への支援強化
◇公立夜間中学をつくる
- 豪雨災害の被災者支援に全力**
2千人の方が仮設住宅での暮らし。医療費、介護費の自己負担減免制度の創設。災害に強いまちづくり、被災者支援制度を抜本的に拡充します。
- 避難所は国際基準に**
新型コロナウイルス対策、避難者の尊厳ある生活のため、スフィア基準(国際基準)の導入をすすめます。

財源は、約7400億円の年間予算の一部を組みかえれば十分できます

ジェンダー平等の県政を

◆女性が活躍できる職場づくり、◆職場等でのセクハラ、パワハラの根絶、◆「パートナースHIP条例」を制定するなど、性の多様性を認めます。



森脇ひさき

1962年、奈良県五條市生まれ。1985年岡山理科大学卒業。1998年岡山大学大学院修士課程修了。1999年岡山大学大学院博士課程単位取得。学生時代から障害者の生活と権利を守る運動、環境を守る運動に取り組む。2003年岡山県議会議員当選(4期)。家族は妻・長男。

県知事選挙は、コロナ禍のもと、感染拡大防止、医療・福祉に手厚い県政をつくる生存権のかかった選挙です。「県民に冷たい」県政から「福祉の心」をもった県政への転換をはかる選挙です。今の政治の流れを力合わせてかえましょう。「市民と野党の共闘」が発展し、「政治は変えられる」確信が広がっています。ご一緒に、県民の願いに寄り添う県政をつくっていきましょう。

森脇ひさきブログ

無所属
日本共産党・
新社会党推せん

岡山県知事選挙投票日

令和2年10月25日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

(ただし、一部の地域で、この時間と異なる場合も
ありますので、入場券でお確かめください。)

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

(両面をご覧ください。)

令和2年10月25日(日) 岡山県知事選挙



投票時間

午前7時から午後8時まで

(ただし、一部の地域で、この時間と異なる場合
もありますので、入場券でお確かめください。)

投票日に予定がある方は、期日前投票ができます。

期日前投票ができる期間

10月9日(金)~10月24日(土)

※投票時間は、午前8時30分から午後8時まで
(期日前投票所によって異なる場合があります。)

新型コロナウイルス感染症対策について

選挙管理委員会では、投票所内での感染防止に取り組んだ上で選挙を実施します。
また、投票所の混雑緩和のため、期日前投票のご利用もお願いします。

選挙管理委員会が実施する感染症対策



投票所、期日前投票所には
手指用消毒液を設置します。



投票管理者、投票立会人、
投票所スタッフはマスクを着用します。



投票所内は定期的に
換気を実施します。



記載台、鉛筆等不特定多数の方が
触れる箇所は、定期的に消毒をします。

有権者の皆様へのお願い



投票の際はマスクの
着用をお願いします。



来場前と帰宅後の手洗いの
実施をお願いします。



投票所では、持参した鉛筆を
使用することができます。



周りの方との距離の
確保にご協力をお願いします。

岡山県選挙管理委員会